

令和 5 年度
自己評価・学校関係者評価表

専門学校 ノアデザインカレッジ

1. 教育理念・目標

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・教育理念並びに教育目標が明確に示されているか	④ 3 2 1
・教育目標は卒業時の到達が読みとれるものになっているか	④ 3 2 1
・教育理念並びに教育目標は定期的に見直されているか	④ 3 2 1
・教育理念並びに教育目標が教職員・学生に浸透しているか	④ 3 2 1

【成果と課題について】

入学時のオリエンテーションや学校案内などで教育理念や目標を伝えるとともに「好き」を将来につなげる。という明確なコンセプトのもと教職員・学生に周知している。また、アドミッションポリシーやディプロマポリシー、カリキュラムも学内で明示している。

【今後の改善及び学校関係者評価について】

昨年度と同様入学希望者や入学者には、教育理念や目標をしっかり伝え有意義な学生生活と将来に向けたサポートができるよう教職員が一丸となって教育活動に取り組めるようになっていきたい。

2. 教育活動

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・カリキュラムは教育目標が反映されているか	④ 3 2 1
・定期的なカリキュラムの見直しがなされているか	④ 3 2 1
・テキストや教材は適切なものを選定しているか	④ 3 2 1
・シラバスが作成され学生に配布されているか	④ 3 2 1
・授業の点検・評価が適切に実施されているか	④ 3 2 1
・資格試験の合格率は	④ 3 2 1
・資格試験不合格者の対策は	④ 3 2 1
・評価は適切な方法で行われているか	④ 3 2 1
・外部企業との連携により実践的教育活動は行われているか	④ 3 2 1
・目標に到達しない学生に対し適切なフォローがなされているか	④ 3 2 1
・進級、卒業の判定審査は適切に実施されているか	④ 3 2 1

【成果と課題について】

資格試験など放課後対策講座など実施することで色彩検定など資格取得率の向上につながっている。年々、人数が学生の人数が増加しているので学生のフォロー体制や教科・学習内容など担当教科の各先生が社会のニーズに合わせた指導を心がけている。より専門的な授業を実践していく為にさらに講師陣が連携して一丸となって教育活動を実施していく必要用がある。

【今後の改善及び学校関係者評価について】

専門性を身につける中で時代の進歩がとても速く感じている。そんな中、2年間という短い時間の中でいかに専門技術を習得できるかが学校としても大事。学校関係者の企業様でもデジタル技術が普及する中でアナログ的な手法とデジタルの融合など新たな展開の時期がきているというようなご意見もいただくことができた。

3. 学生受入れ

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・学生募集のための広報資料の表現・内容並びに広報活動の方法・時期は適切か	④ 3 2 1
・入学案内には志願者が必要とする情報が掲載されているか	④ 3 2 1
・募集要項の内容は適切か	④ 3 2 1
・学校説明会、体験入学の時期、内容は適切か	④ 3 2 1
・入学者選抜の時期、方針、方法は適切か	④ 3 2 1
・志願者状況、定員充足率はどうか	④ 3 2 1

【成果と課題について】

今年度も昨年度と同様定員を満たすことができた為次年度も引き続き丁寧な募集活動を心がけたい。各種募集媒体社とも連携をはかり広報資料の表現・内容並びに広報活動の方法・時期は適切である。入学案内には志願者が必要な情報が掲載されておりWEBなどを使用しいつでも資料請求が出来る状況である。説明会・体験会なども随時開催することで興味のある学生に対して説明できている。また、今後少子化で募集対象人数が減少していく中で社会人や大学卒業後、専門知識や技術を習得したい人を募集に力をいれていく。さらに今年は対面を意識した説明会など増やして次年度も定員の充足をはかりたい。

【今後の改善及び学校関係者評価について】

昨年と同様目標の人数を達成することができた。次年度も丁寧に募集をしていきたい。

4. 教職員組織

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・専任教員は設置基準を満たしているか	④ 3 2 1
・専任教員1人あたりの担当科目時間数は適切か	④ 3 2 1
・教職員の業務分掌は明確になっているか	④ 3 2 1
・教職員の能力、業務内容の評価を定期的実施しているか	4 ③ 2 1
・教職員の資質向上のためのシステムは適切に構築されているか	4 ③ 2 1
・職員は業務が滞りなく遂行できる人数を雇用しているか	4 ③ 2 1

【成果と課題について】

人数が増えたことにより習熟度別にクラスを分け授業を展開し必要な授業には職員を配置し実施している。また、サポート教員を増員し授業遂行に支障がでないように工夫している。教職員の能力や業務内容を定期的に把握するようにしており時代の変化に合わせて適宜調整をしている。講師も第一線で活躍する講師を各、授業に配置し業務が滞りなく遂行できる人数を雇用できている。

【今後の改善及び学校関係者評価について】

より専門的な技術の追求や実践業務に則した内容を教職員が追究し各、教職員との連携を強化して職業教育を進めていきたい。

5. 教育環境

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・講義室は学習を行うのに十分な面積を有しているか	④ 3 2 1
・実習室は実習を行うのに十分な面積を有しているか	④ 3 2 1
・実習設備は整備されているか	④ 3 2 1
・講義室・実習室の管理は適切に行われているか	④ 3 2 1
・学生が自学自習できる教室を有しているか	④ 3 2 1
・教育用機器備品は整備されており活用されているか	④ 3 2 1
・職員室の管理は適切に行われているか	④ 3 2 1

【成果と課題について】

昨年は7Fの職員室を改修し個別面談室や事務手続きが必要な学生に対して入口付近に事務局を設置するなど新しくなった。
 CGや映像分野の学生の為にも最新のデジタルやデザイン実習に必要なPCを購入して整備した。
 各階のトイレなどを徐々に改修しており、学生使用環境に配慮している。
 各、講義室や実習室は学習をする上で問題なく完備されており、一人ひとり専用のパソコンやソフトウェアを貸与しており最新のバージョンの実習教材を学生に提供している。放課後や長期休暇期間も学生に開放している。

【今後の改善及び学校関係者評価について】

CGやCADなど業界必須ソフトなどを入れてさらに学生の使用環境を整備していく。
 ICT系のソフトも今後新しい年度のものに入れ替えてバージョンアップさせる必要がある。

6. 学生支援

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・奨学金等、経済的支援は整備されているか	④ 3 2 1
・学生相談に関する体制が整備・機能しているか	④ 3 2 1
・各学校行事について適切に実施されているか	④ 3 2 1
・防災訓練・防犯の実施は行っているか	④ 3 2 1
・進路活動に関する支援が整備され、機能しているか	④ 3 2 1
・健康診断など学生の健康管理を行っているか	④ 3 2 1
・保護者との連携はできているか	④ 3 2 1
・新たな求人開拓の努力はしているか	④ 3 2 1

【成果と課題について】

就職活動では全体と個別に就職活動を支援しており、専門の教員と専任の就職担当者が個別にサポートすることに専門職の内定率を上げるよう体制を整えている。保護者やご家族様も含めた三者面談、四者面談など実施している。少人数制による授業システムで学生相談も定期的実施され学生を支援している。求人数が少ないため今後デザイン、エンタメ企業の求人を増やしていく必要がある。課題としては学校から勧めた求人に対して卒業後、本人や保護者より話が違うなどご意見をいただくこともあるので就職については学生の人生を左右するものだと認識しなるべく学生の自主性を尊重し自ら企業を探し決められる環境を用意し就活できるよう教職員全体でサポートしていきたい。

【今後の改善及び学校関係者評価について】

卒業生が就職した企業様から頑張っている様子を学校関係者よりいただく。今後、学生支援の一環で卒業生よりOB・OGの声を来校いただくなどこれから社会に出ていく中で必要なことや職業理解の一環として今後、様々な企業様と連携していきたい。

7. 管理・運営

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・理事会・評議員会は適時適切に開催され、機能しているか	④ 3 2 1
・理事会、評議員会の議事録は適切に作成、管理されているか	④ 3 2 1
・就業規則などの諸規程は適切に整備されているか	4 ③ 2 1
・就業規則などの諸規程・学則等が定期的に見直されているか	4 ③ 2 1
・組織間、各部署間の連携は適切に図られているか	④ 3 2 1
・消防計画、学校安全計画等は適切に整備されているか	4 ③ 2 1
・個人情報保護法を遵守しているか	④ 3 2 1
・セクシャルハラスメントに対する防止・対応策が整備されているか	4 ③ 2 1
・財務分析比率は適切な数字になっているか	④ 3 2 1
・学校の財務情報を公開する適切な体制が整備されているか	④ 3 2 1

【成果と課題について】

財務情報等の公開をホームページで行っている。
諸規定等については、現在の実情に合っていないところもあると思われるので、見直していきたい。

【今後の改善及び学校関係者評価について】

財務情報等の公開をホームページで行っている。現在は学生数も多くなっているため、財務状況には比較的余裕があると思われる。
諸規定等については、定期的な見直しを行っていないため実情にあっていないところもあると思われるので、見直したほうが良い。

学校関係者評価委員会議事録

会議名	学校関係者委員会
開催日時	令和6年6月12日(水)
場 所	専門学校ノアデザインカレッジ
出席者	<p>出席者：学校関係者評価委員会</p> <p>委員 赤石恒一【株式会社AKAISHI 代表取締役社長】 委員 林 伸一郎【プライムケア東海株式会社 代表取締役】 委員 一瀬 猛 【一ノ瀬動物病院】 委員 青山 達弘 【株式会社 青山建材工業 代表取締役】 委員 池田 達哉 【特別養護老人ホームこもれび 施設長】 委員 宮田 博文 【有限会社ミヤタ印刷 専務取締役】</p> <p>(計6名)</p> <p>専門学校ノアデザインカレッジ教職員</p> <p>教職員 藤江 通昌 【理事長・校長】 教職員 白瀧 真之 【専門コース長】 教職員 西子 清英 【専任教員・就職進路担当】</p> <p>(計3名)</p> <p style="text-align: right;">(参加者合計9名)</p>
議題等	<ol style="list-style-type: none"> 1 委員会開催概要説明 白瀧 2 学校長挨拶及び学校関係者評価内容の確認 藤江学校長 3 現状と改善について 各委員長より 4 意見交換 説明についての質疑応答、評価実施に関することや今後の進め方など <p>閉会</p> <p style="text-align: right;">以上</p>

別紙 学校評価にて概要記述